

95B33

55 □□□

解法の要点

解説

重複問題

基本事項

91B36

56 □□□

解法の要点

解説

重複問題

基本事項

B型肝炎ウイルス感染について誤っているのはどれか。

- a 性行為によって感染する。
- b 血液を介して感染する。
- c 成人の初感染では持続感染に移行することはまれである。
- d 持続感染者の急性増悪は劇症化する。
- e 無症候性キャリアは高頻度に慢性肝炎に移行する。

B型肝炎は、急性肝炎の場合には劇症化が約2%程度で見られるといわれており、劇症化しやすい原因としてはB型の比率が最も多い。(問-B19, 22)(朝1108L)

- a 近年、成人のB型急性肝炎の主たる原因は性行為による。(中1831R)(朝1101R)
- b B型肝炎ウイルスは、主として血液、分泌液から感染する。(中1831R)(朝1101R)
- c 成人の初感染では通常急性肝炎で、慢性化は極めてまれである。(中1845R)(朝1103L)
- d B型慢性肝炎からの劇症化が報告されている。(中1836問)(朝1108L)
- × e 無症候性キャリアの場合には、e抗原が陰性化してもs抗原まで陰性化することは極めてまれである。(中1836R) **正解 e

★d-100G112

1. B型慢性肝炎は、慢性肝炎の急性増悪により、時に劇症化することがある。
2. B型急性肝炎は、劇症肝炎の原因としては、原因がわかったものの中では最も多い。

B型肝炎ウイルスについて正しいのはどれか。

- a キャリアが増加している。
- b 水平感染が主である。
- c HBs抗体は中和抗体ではない。
- d 変異株はみられない。
- e ワクチンが完成している。

B型肝炎ウイルスにおいては、1985年旧厚生省の母子感染予防対策事業により、e抗原陽性の母親から生まれる児に対し行われるようになってから急激にキャリアの減少がみられるようになってきた。(問-B22)(中1837L)

- × a キャリアは着実に減少し、現在では1%以下となっている。
- × b B型肝炎ウイルスの感染は母から児への垂直感染が多い。
- × c HBs抗体がワクチンによって生じた場合には、これは中和抗体となり、感染防御抗体となる。
- × d 変異株は、B型肝炎ウイルスにおいては通常、頻繁にみられる。
- e ワクチンは完成している。 *正解 e

★a-92A39, e-81A52

■ B型肝炎診断(問-B23)

1. 発症後1ヵ月以内の血中HBs抗原の証明
2. ペア血清によるHBc抗体の上昇
3. 発病初期の血中HBc抗体(IgM)の検出